

2013(平成25)年5月16日

館外講座だより16

災害教訓バスツアー 飯岡編



第 29 回目となるバスツアーは、東日本大震災で津波被害を受けた千葉県旭市飯岡と屏風ヶ浦ジオパークを訪れました。2011 年 3 月 11 日、飯岡には 15:50 の第 1 波から 21:04 まで 7 回の津波が到達、最大は 17:20 の第 3 波で、死者 13・行方不明者 2 人の被害が出ました。津波は最高、7.6m、住宅の全半壊や浸水・液状化など甚大な被害がでました。今回、昨秋の特別展『東京低地災害史』でお世話になった「光と風キャンペーン実行委員会」のご協力で、津波体験や教訓をお話いただきました。まだ継続している東日本大震災を、自らの体験として深く心に刻んでください。

◆飯岡海岸 みなさんのアンケートから 女性○、男性●、(参加回数)です。

- まさに百聞は一見に…でした (13 回目)
- 震災 2 年以上経てはじめて飯岡の被災地の様子を見ましたが、空地には元々家があったことを聞き、当時の被害の様子が少しわかりました。事前学習会の写真や地図が実際の場所を確認するのに役立ちました (初参加)
- 地元防災士さんの説明があり、災害時のようすがよく伝わりました (9 回目)
- 一見すると被害はないようにみえたが、現地の説明により、やっと被害があったことが判明した。現地案内者の説明があつて良かった (5 回目)
- 本日の海は美しい海ですが、津波が押し寄せて家々をなぎ倒し、押し流した跡が生々しかったです。又、海岸の松並木を取り景観をよくしたのが、かえって損害を多くしたとの話で、昔の人々の知恵は大切にしなければならないと思いました (8 回目)
- 2 年が経過しても、復旧の難しさ、津波の恐ろしさを目にしました (6 回目)
- 避難タワーを使わない世を願います。飯岡の砂浜の感じが、石巻に行く途中の野蒜海岸に似ていて、津波が襲ってきた感じがいろいろと想像できた (6 回目)
- 現地を歩いたことで、被害の様子、復興の取り組み、歴史等を体感できました (14 回目)
- きれいな海がどろのような海になり、押し寄せてきた現実が信じられない (初参加、ほか多数)
- 地形的に大津波 7.5m は不幸な出来事ですが、東海地震への対応策に繋がればいいですね (初参加)
- 関東地方でも大きな被害があったことに衝撃を受けた (2 回目)

飯岡の 助五郎の町 初夏に行く 早苗田に 陽光まぶし 房総路

旭市三川地区に完成した避難タワー



防災士 加藤信行さんから説明をうけました



◆飯岡福祉センター・津波被害を聞く会



語り部：小野芳子さん 高橋進一さん

- 御話を聞いて一番感じたこと。家族と良く話し合うこと(5回目)
- 町会長をしていた高橋さんのお話を伺いました。やりきれない思いも沢山あっただろうと感じました。今回グループに分かれてそれぞれお話を聞きましたが、せっかく広いホールでしたので、映像を使うなどして2人の話を順番に聞けたらと思います(初参加)
- 被害を受けた方の話を聞いて天災の生々しさにおどろいています。天災があるのだから、人災はおこしてはならないと、孫にも言い聞かせています(2回目)
- 小野さんの体験を聞いて、息子さんの安否をひたすら心配し続けた母の愛は偉大だと感じました。海を憎まず、前向きに生きる人柄に惹かれました(6回目、ほか多数)



- 実際に被災した方の体験談を聞くことが出来、有意義でした。年数が経ってしまうと忘れがちになりますので、今回聞いた話を頭の中に入れて、いざというときに思い出し、役立てたいと思います(初参加)
- 体験された人の話を聞く事が出来て良かった。災害が身近に感じる事が出来た(5回目)
- 津波に遭われた方の体験を聞いて、自分が住んでいる所の近くでこんな事が起きたのだと思ひ驚きました(初参加)
- 体験者の話、避難したらもどらない事という話は説得がありました(初参加)

◆刑部岬展望台

○1000円のお弁当、大変おいしかった(5回目、ほか大多数!!!)



- お弁当はとてもよかったです。素材もバラエティに富んでいましたし、ハマグリ御飯は身も柔らかく美味でした。展望台は少々ガスっていて展望がいまひとつで残念でしたが、360°のパノラマは良い気分でした。物産は海のものの方がもう少しあっても良かったのではないのでしょうか?(8回目)
- ながめの良い所で、お弁当もおいしかったです。展望台の中で写真で津波のようすを見て、改めてすさまじい津波を感じました(8回目)
- 「マジックアワー」が訪れる一瞬をカメラに収めたい。ため息のするような美しさ—だろうなあ~❤❤



(14回目)

◆屏風ヶ浦ジオパーク

- ボランティアガイドさん、ありがとうございました。いろいろな年代の地層があり、素晴らしかった (6回目、ほか多数)
- 何億年、何千年の世界、アジアのドーバーに感動しました。ジオ=地球、知らなかったー (3回目)
- 地質学の好きな方には、心躍る場所ですね。不思議な感覚で散策しました。毎日散歩される方がうらやましいー! (2回目)
- 来る途中、海上風力発電も見えました。途中ひき返して来ました (2回目)
- 貴重な地層がみられてよかったです (初参加、ほか多数)



明王山不動尊
名洗不動尊

お不動さん 大きなつぎ 見上げれば 風かおる 潮の味
津波跡 地層の跡に 語り継ぎ 心にききんだ バスツアー

TOUR DATA

時間	経過	滞在時
7:30	博物館出発	
7:47	四つ木IC	
8:20	宮野木JCT	
8:33	酒々井PA	12分
8:57	新空港IC	
9:58	飯岡海岸	27分
10:39	飯岡福祉センター	57分
12:00	刑部岬展望台	90分
13:53	屏風ヶ浦ジオパーク	90分
16:13	東総有料道路	
16:30	大栄IC	
16:34	大栄PA	15分
17:48	箱崎JCT	
18:01	四ツ木IC	
18:15	博物館着	
内山観光バス:フェニックス号		
ドライバー:安田 充 さん		
走行距離: 280 km (倍率1.0倍)		
応募47名、当日参加47名		
参加費2500円		

- 学術的な自然資料館(屏風ヶ浦)とキャベツの生産地であると知った (5回目)
- 植物に参加しました。小さな小さな一つ一つの花にも全て名前があり、解説者の勉強に脱帽です(初参加)
- 40~50年前にみた屏風ヶ浦は、全体が夕日に輝く金色で素晴らしかった感動がありましたが、本日は草が繁り始めており景観を取るか、歴史遺産を取るか、むずかしい問題とと思いました。須佐湾(山口県萩市)の地層にも興味湧きました (8回目)
- 浜風も心地よく、不動尊も勉強になりました (10回目)

◆その他・自由欄

- 行楽でもなかなか旭市方面に来ることはなかったのですが、日常の生活にも深い関係にある食材の供給場所ですので、早く回復を望んでいますが、この度は良い機会を得られたと思っています (17回目)
- 「忘れられた被災地・茨城」より、もっと「忘れられた被災地」の感が強い。今日のこの日を「覚えていること、忘れないこと、そして思い出すこと」(14回目)
- 飯岡の助五郎、時代小説が大好きで、よく銚子の海、川が出てくる。親しみ多く聞けました (2回目)
- 災害だけでなく盛りだくさんの計画がいい。ジオパーク、お寺さんのはずせなかった・借りれなかった宝刀もよかったです (3回目)

大風でもびくともしないのは、あまりの重さのためだったのですね・・・



ツアー後記

好天に恵まれ、風も難いだ穏やかな飯岡の海が、私たちを迎えてくれました。展示準備で何度もお伺いした飯岡へ、葛飾のみなさんと再度お訪ねできました。語り部のみなさんからの教訓、それぞれの胸に深く静かに届いたことと思います。そして雄大なジオパークは、何を語りかけてくれたのでしょうか。東日本大震災は、まだ進行中です。「忘れじの時計」に会いに、またお訪ねしたいと思います。

担当学芸員 橋本直子 博物館専門調査員 富澤達三 補助 勝田真幸



葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1
TEL 03(3838)1101 <http://www.city.katsushika.lg.jp/museum/>